

公共交通を充実し 車がなくても住みよい市に

坂本 早苗 議員

坂本 現状バスにはレターバスという愛称がつけました。循環バスも呼びにくいので、わかりやすい名前をつけてはどうでしょうか。

総務企画部長 循環バスをどうするかは今後の課題であり、しばらくはこのままいきたいと考えています。

坂本 レターバスに乗ってみました。バスの表示は現状バスのまま、車内では循環バスと間違ったアナウンスが流れていました。レターバスを徹底してPRする考えはないのですか。

総務企画部長 内部で検討します。

坂本 合志市は住みよきランキングで全国20位。しかしその実態は車があるから便利で快適なのであって、車を持たない人は不便なことが多々あるのではと推察されます。現状バス、循環バス、乗り合いタクシーなどの運行を充実させれば車がなくても、もっと住みよきを実感できるようになります。そのことで車の免許を返上する環境が整うものと思いますが、どうでしょうか。

総務企画部長 高齢者を対象とした

車の免許証を返上する取り組みと公共交通の取り組みをリンクさせることは有意義なことと思っています。前向きに検討を進めます。

農業公園の活用を！

坂本 農業公園カントリーパークは県の施設ではありますが、市の中心部にあり広大な敷地と乗用車2400台の駐車場が完備されたすばらしい施設です。今後どのような利用を考えていますか。

総務企画部長 合志のシンボリック公園と位置づけ、さらなる利用を進めるために農業公社と連携協定書を交わすことを進めています。野外コンサートや町おこしイベントを検討しています。また来年度は合併5周年事業として合志市夏祭りの実施を検討しています。



カントリーパーク入口

生産基盤の整備と 方向性について

木村 祐一 議員

木村 様々な障壁があり、未だ基盤整備に至らず、合生地区を始め多くの箇所での必要性を強く感じている。市として第二期基本計画の「生産基盤の確保」をどう進めるのか。

産業振興部長 第二期基本計画の中でも、農家経営を安定させるため生産基盤の整備は重要な施策であると位置づけている。農家自身が地域の農業を守る気持ちをもたれ、基盤整備の必要性を認識されることが大前提である。市として地域のリーダー、推進員の方々と共に、未同意の方々に粘り強く説得を続けていく。

木村 地権者の合意には、地域のリーダーが必要で、「おい、やるぞ」といったムード作りが必要と思う。行政としても、本当に膝を交えた議論をしていただきたい。また厳しい農業情勢を鑑みるとき、事業費の軽減措置も必要と思う。基盤整備を農業振興に繋げ、未来永劫に農業が営まれる施策が要求されると思うが。

市長 逆転の発想で、今のままでその利用度を上げることができないか、発想の転換がこの農村社会には必要

ではないかと考える。行政が地域に入り込んで、基盤整備の必要性、または農業のあり方についての議論は必要、反面それだけに時間が費やされて更に高齢化、後継者不足を起さないためには、両面からの方法も考える時期に来ている。

安心安全なまちづくりについて

木村 泉ヶ丘消防署では今年10月までに214回救急車2台が重複出場している。夜間の火事を想定した場合、生命財産を守る役目から人員配置、充実が必要ではないか。

市長 今、職員の増という話ができない状況である。しかし、安全安心という議論からすれば本来に地域をどう守るのか広域で意見をしっかりと出したい。



泉ヶ丘消防署

子宮頸がん、Hib、 小児用肺炎球菌の3ワクチンの 公費助成について

松井美津子 議員

松井 子宮頸がん、Hib、小児用肺炎球菌の3ワクチンの予防接種の公費助成について伺う。

健康福祉部長 実施するというふうな方向で検討したい。

松井 HIV対策について妊婦健診での抗体検査の公費助成を。

健康福祉部長 本市では1月から実施するところで検討しています。

松井 燃費を抑え、環境にも優しい職員のエコドライブ講習について。

総務企画部長 環境に配慮した走行の実施確認と職員の意識付けや啓発を行なっていきたい。

松井 プリンターの使用済みインクカートリッジ回収プロジェクトの参加について。



インクプロジェクト回収箱

市民部長 コミの減量化、リサイクル

ルの推進にも効果がある。市内4箇所の設置を予定し、H23年5月から回収の準備を進めていきたい。

松井 新幹線元年のチャンスに本市ブランドの発信を。

産業振興部長 合志市食べ歩きマップを作り、県の事業計画に沿った合志市ブランドの販売促進に努める。

松井 ワンピースのまちづくりについて具体的な考えを伺う。

総務企画部長 カントリーパークを活かしてまちづくりグループと連携を図る取り組みを考えている。

松井 Web図書館の導入、推進について伺う。

教育部長 市民から電子図書を利用したいという意見は何っていないので導入は考えていないが今後取り組みべき重要な課題と認識している。

松井 4校に1校は発生している小1プロブレムについて伺う。
教育部長 合志市幼・保・小・中連絡協議会をスタートさせている。小1プロブレムを大事にしながら取り組んでいきたい。

TPP参加で合志市の 農業は壊滅だ!!

今村 直登 議員

今村 菅政権が、TPP参加を打ち出した。日本の農業、合志市の農業への影響はどうか。

産業振興部長 農水省の試算では、農業生産4・5兆円減、食料自給率は40%から13%へ低下、農業の多面的機能として3・7兆円の喪失、国内総生産8・4兆円減、雇用350万人減と報告されている。合志市農業への影響は県と同じ条件で算出した場合、米・麦・牛肉・牛乳・乳製品・豚肉・鶏卵の2006年のデータで試算すると52億8000万円の生産額に対し44億7000万円の減少となりTPP加入後の生産額はわずか8億990万円となり本市農業にとっても壊滅的打撃となります。

税金の納期について

今村 現在、税金の納期が8期になっている。負担感を減らす為に10期あるいは12期にできないか。

市民部長 8期、10期のメリット、デメリット等を十分考慮し検討させていただきます。

公民館の使用規定について

今村 公民館を使用する時、主催者の名前を書くのは当然だが、不特定の参加者の名前まで書き出さねばならず、利用者から、おかしいとの声が上がっている。近隣の市町村では主催者の名前だけになっている。規約を改正すべきだ。

教育部長 教育委員会、検討していただきます。

子どもの遊び場について

今村 子どもの遊び場設置について進捗状況はどうか。

都市建設部長 自衛隊用地の借用、恵楓園グラウンドの利用、また新しい宅地開発の時の小さな公園設置をあらかじめ区域を指定し、規模の大きな公園、運動場を設置できないか、検討している。

